



本園ではウサギを4匹飼っています。1匹は「アンリちゃん」。ほかは「しろちゃん?」「お母さん?」「しろくろちゃん?」ウサギは数年前から居るのですが、職員は次々に代わり、3匹のはっきりとした名前が分からなくなっていました。

今年も、4月からウサギ小屋の周りは子どもたちでいっぱいでした。「ふわふわして気持ちいい」「僕の餌、食べてくれた!」「この草食ベる?」「あつ食べた。おいしいのかな」などと、好奇心いっぱいの方から、今では自分たちの園生活の中に当然居る仲間という接し方に変わってきています。そうなる気になるのは、名前がはっきりしない事です。「先生、名前決めよう」と子どもたちから提案してくれました。



園内のテラスに名前募集のコーナーを設けると、4日で100件以上の応募がありました。たくさんのユニークな名前のうち、「かい君」、「ぶくちゃん」、「みみちゃん」に決定しました。それからは名前を呼ぶだけでも楽しそうで、「かい君、かわいいね」などと、声を掛けながら抱っこしたり、餌をやったりする姿が多く見られるようになりました。以前は初めから名前の決まっていた「アンリちゃん」に人気が集まっていたのですが、今はどのウサギも名前を呼んでもらっています。名前を呼びながら遊ぶのと、黙って遊ぶのとは親しみの感じ方がまったく違うことがよく分かりました。友達との関係も同じですね。

土岐津幼稚園の子どもたちは、今日もウサギと一緒に遊びながら、優しい気持ちで心の中はぐくんでいます。



- 住宅火災から大切な生命を守るために、
- 住宅用火災警報器を設置してください ●

消防本部 ☎530123

### 救急車を呼んだのに消防車も来た!

救急車を呼んだ時「消防車は呼んでいないのに!」とびっくりされることはありませんか?

市では、救急隊だけでは対応が困難と予想される場合、消防隊が同時に救急出動し連携活動する「救急隊支援出動」を行っています。これにより、救急活動が迅速かつ安全に行うことができ、病院到着時間の短縮や救命率の向上を図っています。昨年の年間出動件数のうち約1割が救急隊支援出動です。

なお、消防車にも応急処置資機材が積載しており、救急隊員と同じ資格を持った隊員が乗っていますのでご安心ください。



### 救急車と消防車が同時出動する例

▷119番通報を受けた際、心肺機能停止などの重症が疑われるとき ▷交通量の激しい道路で、傷病者や救急隊員の安全確保が必要なとき ▷ドクターカーやドクターヘリ、防災ヘリを運用する必要があるとき など ※救急隊支援出動時は、救急車と消防車が鳴らすサイレンの音を、次のように使い分けています。

#### ・火災の場合

「ウ〜ウ〜(サイレン音)」+「カンカン(鐘の音)」

#### ・火災以外の場合

「ウ〜ウ〜(サイレン音)」

救急隊支援出動にご理解とご協力をお願いします。